

2007 年度事業報告書

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構

I 事業期間

2007 年 4 月 1 日～ 2008 年 3 月 31 日

II 事業の成果

1、特定非営利活動にかかる事業

(1) 就労機会提供事業

A 地方公共団体等からの委託事業

55 歳以上の野宿を余儀なくされている高齢者、野宿に至るおそれのある高齢日雇労働者等の 2007 年度特別就労登録者 2,372 人を対象に、大阪府および大阪市から受託して就労機会提供事業をおこない、延 66,317 人を雇用し、多少の収入増をもたらして困窮生活をいささか緩和するとともに、就労意欲と自立意思の継続をもたらすことに貢献した。

また、大阪城仮設一時避難所において管理指導等業務、大阪城避難所および自立支援センターおおいずみの入所者を対象に所外作業を受託実施し、3,021 人を雇用するとともに、自立支援センター舞洲において入所者の所内所外作業を受託実施し、入所者の生活向上や自立資金の入手に貢献するとともに就労自立意欲の増進に貢献した。

B 民間の協力による就労機会提供事業

地方公共団体等からの委託事業のみでは不足する就労機会提供の需要にこたえるため、民間からの作業を請負い、延 453 人を雇用して、野宿を余儀なくされている人、野宿に至るおそれのある人の就労機会を拡大することに貢献した。

(2) 寝場所提供事業

A あいりん臨時夜間緊急避難所管理運営事業

宿泊場所のない人に寝場所を提供するために、358 日間開所し 239,429 人に寝場所を提供することで、野宿を余儀なくされる人の寝場所探しの苦難を軽減するとともに、路上生活における寒さや心無い嫌がらせから身を守り、シャワー提供・洗濯場所提供により清潔を保つことに貢献した。また夜間避難所運営に必要な人員を野宿生活者より選び、雇用することで、就労機会も提供している。

また平均週 1 回のペースで「NPO フードバンク関西」よりパン等の食材を頂き、利用者は無償配布して、乾パン配布のみでは不足する食事の提供に貢献できた。

(3) 就業自立サポート事業

就労機会を提供するだけでなく、就職相談・就職支援事業、技能講習事業、リサイクル事業、内職作業提供事業等就業自立をサポートする事業を、幅広く就労機会提供事業と結び付けて実施した。それにより、野宿を余儀なくされる人、野宿に至るおそれのある人自身が、就労機会を提供されることから自ら一歩踏み出して、就業自立を目指していく方向を持てるようになることに貢献した。

A 大阪ホームレス就業支援事業

07年度、609人に新規に就職支援用登録カードを発行し（05年度からの累計1,940人）相談・支援を実施するとともに、うち274人の就職・就業を実現した。また72人に住之江公園・住吉公園での就労体験事業（2ヶ月延26日間）を紹介し、就業自立の促進に貢献した。

B 技能講習事業

①技能講習事業においては、自転車修理講習・園芸作業講習・靴修理講習を実施し、技能を身につけることで技能講習修了後の技能向上・就業提供事業への従事につなげることに貢献した。

②高齢日雇労働者就業支援事業での園芸作業講習では大阪市ゆとりとみどり振興局、大阪市就業支援モデル委託事業での園芸公園管理講習では都市公園住之江公園・住吉公園両管理共同体の協力を得て、基礎講習と実地復習を一貫できたことにより、受講者の意欲と技能習得に貢献できた。

C 技能向上・就業提供事業

自転車リサイクル事業においては、マンション管理組合・住之江公園・民間企業等から回収した不要・廃棄自転車を、396台リサイクル・修理して納入（民間事業所・行政関係・個人など）することで、技能講習修了者の技能の向上と作業従事による収入獲得・就業意欲増進に貢献した。また、2007年11月に港区で1ヶ月間の試行事業として実施された事業所用レンタサイクル（サイクルネットワークみなど）に、無償で70台をレンタサイクル用として提供するとともに、管理要員を21日間延117人雇用して就労提供した。

園芸作業においては、住之江公園管理事務所から植栽の灌水作業の提供を受け、講習修了者のグループ（平均14人）を形成して、交代で毎日2名が、講習後の実作業に公園で従事できるようになった。また、この就労グループで、住吉公園・住之江公園・当機構の民間受注からの除草や樹木剪定作業などを実施することができた。

D 内職作業提供事業

内職作業提供事業は、民間企業より作業を受注して各従事者に提供し、大阪ホームレス就業支援センター1階の内職作業場等で作業する形でおこなった。「就労リズムを整え就労適合性を回復する職業訓練」としての位置で、就労自立意志が強く就職活動をおこなう資金的基礎を整える必要がある人については、就業支援センター運営協議会が運営する職場体験講習事業（従事者への助成金事業）を加えている。その結果、延作業人数2,303人（06年度2,443人）に対し、平均工賃は1,396円（06年度1,219円）と前年度より上昇させることができ、06年度内職作業者57名のうち5名を就職につなげることができた。自立支援センター入所者からも07年度11名を受入れた。

(4) 福祉・生活・健康サポート事業

A 福祉相談・生活サポート事業

年間新規相談者は411名（平成18年度は554名）。延べ相談者数8,603人（平成18年度は8,609人）となった。昨年度と比べて新規相談者数は2.5割程度減少したにもかかわらず、延べ相談者数

はほぼ同数となった。これは一人の相談者に対して、継続的に支援をしなければならない必要性があること、次につなげることができる社会資源の貧困さを示している。

一方、新規相談者の年齢の傾向として、若年者（40歳未満）の相談者が約1割、釜ヶ崎での日雇い経験がほとんどない相談者の割合が増加する傾向がみられた。

B 健康相談事業

医療関係者のボランティア協力で、健康相談（血圧測定・結核・生活習慣病相談・大阪社会医療センターへの診療依頼券の発行など）、市民健康診査・C R車結核健診の受診支援をおこない、野宿生活から脱却するためにも健康維持を図ることに貢献した。健康相談での相談者数は延667人（特別清掃事務所で歯科相談延70人、歯科以外延533人、今宮シェルターで64人）、市民健診受診者数は延154人となった。

(5) その他の事業

A 憩いの場提供事業

高齢日雇労働者・野宿生活者に休憩・交流・憩いの場を提供するために、「禁酒の館」の名称で低額の食堂・喫茶室・シャワー、無料での図書室・洗濯機の提供を06年6月から開始した。食堂は200円で腹いっぱいになれるようにすることを目指し、アルミ缶を集めて生活している人など幅広く利用され、食および憩い、清潔の保持に貢献した。

B 公園管理共同事業（新規事業）

2006年度より、府営公園である住之江公園・住吉公園両公園における指定管理者に選定され、J V（都市公園管理共同体）を構成して運営の一端を担うこととなった。このことにより、大阪市就業支援モデル委託事業での園芸公園管理講習を住之江公園において実施することができ、また住吉・住之江両公園で72人に対して延2,304人日の就労体験事業（職場体験講習を併用）を実施することができた。

III 事業の実施状況

1、特定非営利活動にかかる事業

(1) 就労機会提供事業

A 地方公共団体等からの委託事業

a) あいりん高齢日雇労働者等就労事業（前年度も実施）

大阪市からは「あいりん高齢日雇労働者等除草等事業」と「あいりん生活道路清掃事業」の委託を受けた。「あいりん高齢日雇労働者等除草等事業」においては延18,260人を雇用して、市有地・道路・公園等での除草・剪定および清掃等、市立保育所でのペンキ塗り・剪定・修繕等の作業を実施し、「あいりん生活道路清掃事業」においては延20,015人を雇用してあいりん地域内の道路清掃ならびに、公共施設の外壁ペンキ塗り作業を実施した。（除草等事業総額：178,051,987円。うち人件費135,552,434円、その他経費42,499,553円。生活道路清掃事業総額：163,910,911円。うち人件費141,398,885円、その他経費22,512,026円）

b) 高齢日雇労働者就労自立支援事業（前年度も実施）

大阪府からは「高齢日雇労働者就労自立支援事業」の委託を受けた。そのうち「あいりん地域外清掃業務」では延19,598人を雇用して府立施設・府立高校・道路・河川等で除草・剪定・

清掃等の作業を行い、また府税事務所において立木の剪定作業を実施した。「あいりん労働福祉センター就労斡旋機能向上業務」では延 8,441 人を雇用して、あいりん労働福祉センターに出入りする求人車両の誘導ならびに清掃作業を実施した。(事業総額 240,000,000 円。うち人件費 197,393,804 円、その他経費 42,606,196 円)

c) 公共施設等の除草、清掃作業等の環境美化事業 (前年度も実施)

大阪市から委託を受けて、大阪城仮設一時避難所入所者による区役所等公共施設での所外作業を延 448 人を雇用して実施した。(事業総額 4,998,680 円。うち人件費 3,307,349 円、その他経費 1,691,331 円)

d) 自立支援センターにおける就業自立支援事業のうち軽易な作業を通して自立意欲を助長する事業 (前年度も実施)

大阪市から委託を受けて、自立支援センター舞洲入所者に対する周辺清掃、内職作業指導等を実施した。(事業総額 1,676,980 円。うち人件費 600,000 円、その他経費 1,076,980 円)

e) 大阪城仮設一時避難所管理指導等業務 (前年度も実施)

社会福祉法人みおつくし福祉会から委託を受けて、大阪城仮設一時避難所において延 2,196 人を雇用して巡回管理業務ならびに清掃管理業務を実施した。(事業総額 30,537,580 円。うち人件費 25,792,020 円、その他経費 4,745,560 円)

f) 自立支援センターおおいずみ入所者所外作業 (前年度も実施)

大阪府から委託を受けて、自立支援センターおおいずみの入所者を対象に、大泉緑地内の清掃作業、および河川敷よう壁のペンキ塗り作業などを延 377 人を雇用して実施した。(河川敷環境美化事業＝事業総額 500,000 円、うち人件費 265,318 円、その他経費 234,682 円。大泉緑地清掃事業＝事業総額 2,823,847 円、うち人件費 1,769,700 円、その他経費 1,054,147 円。滝畑第 2 トンネル内環境美化事業＝事業総額 1,000,000 円、うち人件費 541,438 円、その他経費 458,562 円)

B 民間の協力による就労機会提供事業

a) メーデー会場清掃業務 (前年度も実施)

連合大阪から委託を受け、5 月 1 日連合大阪主催大阪メーデー会場の清掃を、西成労働福祉センターの高齢者特別就労登録者への輪番紹介を活用して 88 名雇用して実施した。

b) その他請負業務 (前年度も実施)

ノートルダム修道院や大阪市教育振興公社・民間企業・個人宅等から幅広く除草・塗装・剪定等の作業を請負い、延 365 人を雇用して作業を実施した。

(2) 寝場所提供事業

A あいりん臨時夜間緊急避難所管理運営事業 (前年度も実施)

大阪市から委託を受けて「あいりん臨時夜間緊急避難所＝萩之茶屋・今宮 (最大利用可能人数 1,040 人)」の管理運営業務をおこなった。延利用人数 238,429 人。延雇用人数 8,985 人。(事業総額 137,509,177 円。うち人件費 87,096,076 円、その他経費 50,413,101 円)

(3) 就業自立サポート事業

A 大阪ホームレス就業支援事業 (前年度も実施)

大阪ホームレス就業支援センター運営協議会から委託を受けて、就労自立を目指す人への就職相

談・就職支援事業を実施し、求人情報の提供・求人企業への紹介、面接および履歴書作成指導ならびに履歴書貼付用写真の撮影・提供、携帯電話・自転車・背広等の貸し出しをおこなった。また、お仕事支援部2階にハローワークインターネットサービスの求人検索用にパソコン3台を配置して無料利用提供するとともに、就業支援センター運営協議会主催の就職支援セミナーへの会場提供を実施した。また高齢者特別就労事業登録者等就労機会提供事業従事者の就業自立を促進するために、就業支援員のうち11名を就労機会提供事業に配置し、作業指導とともに日常の就業相談を実施し、就職相談・就職支援事業への中継を行った。(事業総額78,560,299円。うち人件費71,121,531円、その他経費7,438,768円)

B 技能講習事業 (事業内容一部変更)

技能講習事業においては、大阪市から委託を受けて「高齢日雇労働者就労支援事業」において園芸作業・自転車修理・靴修理の技能講習を延315回、1,151人に対して実施するとともに、大阪市就業支援等モデル委託事業に応募して受託し、延275人に園芸公園管理講習を実施した。

(高齢日雇労働者就労支援事業=事業総額14,747,651円。うち人件費8,259,792円、その他経費6,487,859円。大阪市就業支援モデル委託事業=事業総額2,950,947円。うち人件費1,050,000円、その他経費1,900,947円)

C 技能向上・就業提供事業 (事業内容一部変更)

自転車リサイクル事業においては、延664人が作業に従事し、396台をリサイクルして納品した。また、公園管理就業事業として、住之江公園と住吉公園核管理事務所より受注した灌水、除草、樹木剪定、草花植栽などの作業に、園芸講習の修了者延べ769人が従事した。また、2007年10月と2008年3月には、西成愛隣会および大阪自彊館が進めている釜ヶ崎内の「花いっぱいプロジェクト」として、壁掛け用のプランター約200個の製作と設置を受注し、作業を実施した。

D 内職作業提供事業 (前年度も実施)

内職作業提供事業は、民間企業より作業を受注して各従事者に提供し、大阪ホームレス就業支援センター1階の内職作業場等で作業する形でおこなった。延作業人数2,303人、平均工賃1,396円(06年度1,219円)。自立支援センター入所者の受入れもおこない、07年度11名を受入れた。

(4) 福祉・生活・健康サポート事業

A 福祉相談・生活サポート事業 (前年度も実施)

従来どおりの就労機会提供事業(特別清掃の輪番登録者)や寝場所提供事業(シェルター利用者)に加え、今年度は就労支援事業(「お仕事支援部」利用者)で何らかの関わりができた野宿生活者を中心に、福祉相談(居宅保護・施設入所・病院受診の援助を中心に債務・戸籍の回復など総合的な援助)事業をおこなった。病院訪問、アパート訪問、服薬・金銭管理をおこなった。

B 健康相談事業 (前年度も実施)

医療関係者のボランティア協力で、特別清掃事務所(月~金曜の午後2時半~4時、うち木曜は歯科相談)で、高齢日雇労働者や野宿を余儀なくされている人に対する健康相談(血压測定・結核・生活習慣病相談・大阪社会医療センターへの診療依頼券の発行など)を実施した。また萩之茶屋小学校での市民健康診査や大阪社会医療センターの協力により06年10月以降月1回実施されている市民健康診査、大阪市保健所が月3回釜ヶ崎内で実施しているCR車結核検診の受診支援をおこなった。

(5) その他の事業

A 憩いの場提供事業（前年度も実施）

西成消防署海道出張所跡地の高齢日雇労働者就労支援センターの一部を借りて、「禁酒の館」の名称で低額の食堂・喫茶室・シャワー、無料での図書室・洗濯機の提供を06年6月から開始している。07年度延利用者数約90,000人、1日平均約300人が利用した。

B 公園管理共同事業（前年度も実施）

2006年度より、府営公園である住之江公園・住吉公園両公園における指定管理者に選定され、住吉公園においては株式会社美幸工業、住之江公園においては大代興業株式会社とJV（都市公園管理共同体）を構成して運営の一端を担っている。管理運営の実際面は各株式会社がそれぞれ公園事務所として担い、当NPO釜ヶ崎は企画面および野宿を余儀なくされる人の公園就労推進面に無償参加で加わる形態で、共同体での役割を担っている。

C 「若年不安定就労・不安定住居者」支援事業（新規事業）

いわゆる「ネットカフェ難民」や若年ホームレス生活者を支援するため、「大阪市就業支援モデル委託事業」を活用して「若年不安定就労・不安定住居者」聞き取り調査を、大阪市内・府内のネットカフェや漫画喫茶・深夜営業店、自立支援センター等に出向いて合計100人から詳細な聞き取り調査を実施した。調査結果は大阪市立大学大学院創造都市研究科と共同して調査報告書「若年ホームレス生活者への支援の模索」としてA4版全305ページにまとめた。また、調査協力者等からの就職相談や福祉生活相談に対応し、就職や福祉援護等での支援をおこなった。

D 雑誌「ビッグイシュー」販売支援事業（前年度も実施）

「ビッグイシュー」はホームレスの人だけが販売できる雑誌で有限会社ビッグイシュー日本が現在月2回発行し、主要駅ターミナル周辺で立売で販売されている。販売者は140円で雑誌を仕入れ300円で販売することで1冊当たり160円の収入を得ることができる。ビッグイシュー本社が大阪市北区にあるため、釜ヶ崎支援機構では支援事業として、主に南の仕入先として販売者への取次ぎをおこなっている。

2007年度は延2,763人の販売者に、65,366冊（1人1回平均23.7冊）を取次ぎし、場所的・時間的に本社での仕入れが困難な販売者の仕入れに伴う負担の軽減に貢献することができた。

E 広報・研究事業（事業内容一部変更）

①広報活動においては、独自ドメインによりホームページを運営するとともに、特別就労登録者に配布する「NPO釜ヶ崎現場通信」を11回（毎回約1,500部）発行配布し、会誌「NPO釜ヶ崎」を4回（33号2007年4月20日、34号同6月5日、35号同9月21日、36号2008年1月16日、毎回約800部）発行して会員・スタッフおよび関係者・交流団体等に郵送・配布した。また「事業概要」を更新した。

②研究活動においては、2007年5月高齢者特別清掃登録者1,465人より生活調査のアンケート調査をおこない、また10月31日にはあいりん臨時夜間緊急避難所の当日利用者のうち514人より生活調査のアンケート調査を実施した。

F ネットワーク推進事業（事業内容一部変更）

①ファイザー製薬より寄贈いただいた血圧手帳4,000部を、市内府内で野宿を余儀なくされている人への共通の相談資源として活用するために、当機構のほか、大阪市巡回相談室・ビッグイシュー・大阪府保険医協会等へ配布した。

- ②あいらん地域外で野宿している人たちへの自立支援活動との連携を強めるために、10月29日に中ノ島公園・桜ノ宮公園・淀川河川敷・港区西区でおこなわれた「野宿者支援統一行動」（法律・医療・就労相談会＝事務局団体・大阪府保険医協会・歯科保健研究会・NPOヘルスサポート大阪・大阪弁護士会ホームレス対策部会）と11月に武庫川河川敷でおこなわれた「尼崎・西宮行動」に参加し、引き続き定例会合に参加した。高校・大学等の学校関係者・学生、人権団体、法律家団体、労働団体、府内・他府県の地域団体等幅広い層から釜ヶ崎地域視察・レクチャー・特別就労での労働体験を受け入れた。
- ③野宿を余儀なくされる人、野宿に至るおそれのある人への支援を全国的なネットワークでつなぐに政策提言していくために、NPO新宿ホームレス支援機構・NPO北九州ホームレス支援機構・NPOふるさとの会（東京 山谷）など全国の支援団体約40団体とともに、「ホームレス支援全国ネットワーク」を2007年5月に結成し、その後の政府交渉（2007年6月、2008年2月）および全国研修会（2008年2月）を共同して実施した。
- ④住之江公園・住吉公園での指定管理共同事業を土台に、(株)ナイス・(社福)大阪自強館・民間企業とともに就労支援会社「Wac有限責任事業組合」を設立し、釜ヶ崎内で「まちなちの花屋Bon」開設の準備をおこなった。
- ⑤ココルーム（こえとことばとこころの部屋）主催のワークショップ（パソコン講習：2007年8月に3回開催）の会場として、当機構のお仕事支援部2階を提供するとともに、12月開催の「就労支援シンポジウム・生きづらさをこえて」に参加した。

G 自助努力援助事業（事業内容変更）

不動産会社の協力により、アルミ缶収集で生計を立てている5人に、それぞれ約4ヶ月間無償で住居を提供した。また、2007年12月に民間会社から無償で提供された災害用非常食セット約1万セットを、釜ヶ崎だけでなく大阪市内の各公園や河川敷で野宿生活を送っている人たちに配布するとともに、他の支援団体へも提供した。

H その他の活動

- ①「大阪市ホームレス問題懇談会」「西成区地域福祉アクションプラン策定・推進委員会」「西成区包括支援センター運営協議会」「厚生労働省ホームレスの実態に関する全国調査検討会」「大阪市社会福祉協議会」に委員または評議員として参加した。
- ②「日本ソーシャルインクルージョン推進会議」「共生型経済推進フォーラム」「NPOまちづくり今宮」に参加。「環境福祉学会」に法人として参画。
- ③2007年12月26日に内閣府でおこなわれた「ホームレスの自立の支援等に関する基本方針」に関する国と6自治体・3民間団体との意見交換会に出席し、意見を述べた。

IV 社員総会の開催状況

第8回社員総会

日時：2007年6月16日

場所：釜ヶ崎支援機構南分室2階

正会員34名中28名（内委任状8名）、非会員13名が参加して第8回社員総会を開催した。事業報告・会計報告・事業計画・予算を審議し、採択した。

V 理事会その他の役員会の開催状況

理事会は2回開かれ、当法人の活動の大方針について論議し決定した。

第17回理事会議事

日時：2007年6月2日 午後6時より

場所：釜ヶ崎支援機構南分室2階

1) 2006年度事業報告・会計報告、2) 2007年度事業計画、3) その他

第18回理事会議事

日時：2008年2月

場所：各理事多忙につき、山田理事長が各理事・監事を訪問しおこなった。

1) 事業の中間報告、2) 当法人を取り巻く状況についての協議、をおこなうとともに、3) 「Wac 有限責任事業組合」の共同設立に関する出資の可否について協議し、当法人が出資して法人として社員になること、職務執行者を山田實理事長とすることに、全理事が賛成し可決した。また、4) 次回総会が役員改選総会になるため、山田理事長より全理事および監事に重任を要請した。